

South Wind

サウスウィンド Sep. 2022 Vol.101

特集

教育現場の多文化共生



Contents/ 目次

特集 教育現場の多文化共生	2,3,4
多文化共生社会をめざして	5
Hear! Here Voices	6
宮崎県国際交流協会ニュース	7
INFORMATION	8

写真は都城東高等学校に通うパキスタン出身の生徒とそのクラスメイトです。みなさん仲むつまじく学生生活を謳歌しています。
(※撮影時のみマスクを外しています)



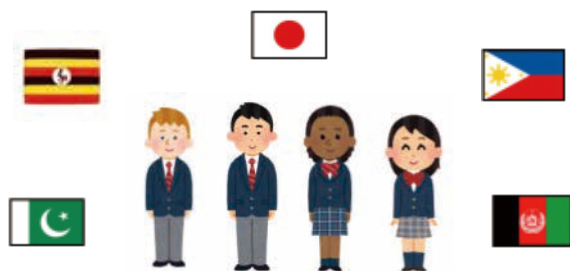
公益財団法人 宮崎県国際交流協会
<https://www.mif.or.jp/>



宮崎県では、7,011人（令和3年12月）の外国人の方が生活しており、日常生活で外国人と接する機会が増えた現在、お互いの文化的違いや価値を受け入れ、尊重し、より良い関係を築くための「多文化共生」の考え方が重要な意味を持つようになりました。教育現場でも子ども同士の異文化理解の向上や、多文化共生実現のためにあらゆる取り組みがなされています。

都城東高等学校 ～共に学ぶ外国につながる子どもたち～

外国にルーツを持つ生徒と共学



国境を越えて、国籍の異なる子ども達が一緒に教育を受けることができる場を提供しようという想いがきっかけで、様々な国から来日した子ども達を生徒として受け入れてきました。

充実した学校生活



生徒同士“一個人”として向き合い、文武両道な学生生活を謳歌しています。外国にルーツを持つ生徒たちも、生徒会や部活に入るのは当たり前だそうです。

～多様な背景を持つ生徒の受け入れに伴う課題と学校側の対応～

	課題	学校側の対応
日本語能力	・1年生の頃は流暢でない ・サポートを必要とする ・「言葉の壁」問題	・放課後に日本語学習の場を設ける ・資料にルビを振る ・英語に翻訳した資料を配付する
人間関係	・自己主張が控えめな日本人生徒と、はっきり自己主張する外国にルーツを持つ生徒同士の対立	・“日本人対外国人の問題”と捉えない ・違いを許容し、和解できるように生徒同士で解決させる
文化・慣習の違い	・宗教儀式参加のため学校を欠席する ・体を覆うヒジャブの着用	・生徒と相談し、個々の事情として配慮を行う

“外国籍、留学生だから”と特別扱いはしません。皆、本校の生徒の一員です。



都城東高等学校
井上 達也 先生

彼らは日本の学校に通い日本語で学びにきているので、日本人生徒と同じように接し、何事も自分の意志を持って取り組ませるようにしています。そうすることで、日本での生活における文化・慣習上の違いに対する理解力、適応力を身につけていきます。

また彼らの存在は日本人生徒にとってもメリットがあります。共に学校生活を送ることで、外国人に対して身構えることもなくなり、外国人だからというフィルターを通した見方をなくなります。外国にルーツ持つ生徒との出会いをきっかけに、国際的な分野の学習や将来の仕事などに目を向けるようになった生徒もいます。

日本人と外国にルーツを持つ生徒がお互いの持つ素質を与えたり、受け取りながらハングリー精神のある子どもたちに育っていくことを期待します。

宮崎市立学園木花台小学校 ～楽しくみんなが伸びる学校をめざして～

立地が宮崎大学から近いため、大学に在籍する留学生の家族滞在ビザで来日し、学校に通う子どもが多いそうです。

教育指導体制・配慮

- ・日本語学習が必要な児童には、日本語指導員 2 名による学習支援を提供する。
- ・イスラム教徒の児童はラマダンの期間があり、日の出から日没まで食べたり、飲んだりすることができない。その場合、給食の時間は別室を設けて対応する。
- ・保護者や児童とよく話し合い、学校ができる配慮は可能な限り細かいところまで心がける。



開校の早い時期から外国にルーツのある児童を受け入れていて、その期間が長いこともあり、校内の国際的な環境は子どもたちにとって当たり前となっているため、児童同士の関係は良好です。

本校は『自分で考え、判断し、行動する心豊かでたくましい児童の育成』という教育目標を基に、楽しい学校、みんなが伸びる学校を目指しています。

多文化共生社会に生きる子どもたちには、国籍や性別が違ってもお互いを受けいれることができ、楽しい学校生活を送ってほしいと願っています。



宮崎市立学園木花台小学校
日高 和宏 校長

日本語指導員について



宮崎市立学園木花台小学校
黒木 夏菜 先生

日本語指導員の主な役割

- ① 授業に入って、日本語指導を必要とする児童のサポートをする。
- ② 教材を使って、校内の日本語教室で日本語を教える。
- ③ 担任の先生と協議し、児童にとって必要な学習プログラムを組む。

指導の中で印象に残っていること、難しいと感じること

低学年であろうが、高学年の子どもであろうが、日本語の習得がとても早いことです！

日々の学習の中で、また同級生と学校生活を送る中であっという間に日本語を吸収し、自分の物としていきます。日本語能力の飛躍に関しては、やはり本人が使った分、コミュニケーションをしようとする姿勢があるほど、得られる結果は大きいです。

指導上での難しさは、日本語能力が個人によって異なるのでマニュアルがないことです。児童に合った教材を毎回準備して勉強を進めるので、何が一番児童の日本語能力をのばすことができるのか、方法を生み出す工夫が大変です。



日本語指導において大切なこと

子どもの立場に立って考えるということが大切だと思います。日本での学校生活はわからないことだらけです。指導に関して、ストレスなく理解できるような配慮を心がけています。

また、児童のバックグラウンドである国のルーツや、アイデンティティの確立においても、自尊感情や自己肯定感を育むことができるように、児童自身に関心を持って接するようにしています。



千代田幼稚園 ～小さな頃から異文化に触れる～

平成 29 年度に幼稚園教育要領が改訂され、幼稚園教育にて国際理解や異文化理解が導入されました。



H29.国際理解・異文化理解教育の導入



～千代田幼稚園での取り組み～ 「国際交流教室」を開講



(公財)宮崎県国際交流協会の *多文化共生アドバイザー派遣制度を活用

* 多文化共生アドバイザーの役割とは？
外国の文化や多文化共生、国際協力
について講座を行います。

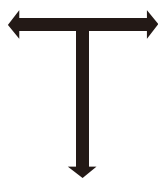


千代田幼稚園の重視する教育

- ・「国際理解＝英語」というような言語の学習だけにとらわれない教育の提供
- ・机上学習だけでなく、楽しく遊びながら学べる経験学習も取り入れる

多文化共生アドバイザー

- ・ 海外滞在経験のある方、外国にルーツのある方が講師を務める
- ・ 各国の歴史、文化、生活習慣についての講話
- ・ 国際協力、異文化理解についての講話
- ・ 民族楽器演奏、民族衣装の試着等の体験



効果・園児の反応



- ・ 外国の言葉で挨拶ができるようになる
＝国際交流の一步を踏み出す

- ・ 外国の絵本や外国語表記の物に興味を持つ
＝外の世界へ視野が広がる

アドバイザー派遣制度を利用してみて



千代田幼稚園 副園長
日高 美穂 先生

利用開始の当初は、外国の異なる価値観に触れることで、どうなるやらとハラハラもしました。けれど、そんな心配をよそに幼児たちは物怖じせずに、自分たちとは異なる言葉を話し、異なる外見を持つ講師の方に興味を抱き、「こんにちは」「どこから来たの？」と自ら声をかけていきます。講師の方に対する幼児の反応を見ると、自分との違いに関心を向けるだけでなく、共通点を見つけだしたりもします。時間をかけて、お互い同じ人間同士であることを理解すると、自然と打ち溶けていくようです。

小さいうちから異なる言葉や文化に触れておくことで、カルチャーショックを受けることも少なくなるでしょうし、みんな同じ人間であることを理解できれば、仲間意識が芽生えます。違う者同士でも、お互いに仲良くできる子どもに成長してほしいと願います。

※多文化共生アドバイザー講師派遣は県内全域対象、無料で依頼できます。

※アドバイザーの詳細・依頼については、当協会のホームページをご覧ください。

多文化共生社会をめざして

宮崎県に住む外国人にとっての

やさしい日本語

宮崎には約7,000人の外国人が住み、国籍も多様化していて、外国人への情報発信の手段としてやさしい日本語を広く活用することが期待されています。「令和3年度宮崎県の国際化に関するアンケート調査〈外国人住民アンケート〉」によると、回答者のうちの63.1%の外国人が、「生活の中で日本語を使っている」と答えています。半面、「生活する上で困っていることは何ですか。」という設問に、「日本語能力」と答えた人が42.2%と一番多かったです。このことから、日常生活で日本語を使っているものの、やはり難しいと感じている外国人が多いということが分かります。



そこで・・・注目される

やさしい日本語

そのような宮崎に住む外国人に、役所や学校での手続き、ゴミの出し方といった社会のルールや仕事に関すること、さらに災害時の情報などを伝えたいときに、多言語に翻訳したり通訳するほかに、やさしい日本語を活用することが外国人にとって大いに助けとなります。やさしい日本語は、難しい言葉をやさしく言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。日本語の持つ美しさや豊かさを軽視するものではなく、日本語を母語としない人、高齢者、障がいのある人など、多くの人に日本語を使ってわかりやすく伝えようとするために工夫されたものです。

そこで・・・具体的に

やさしい日本語とは？

- ①はっきり言う : はっきり伝える、あいまいな言い方はしない。
- ②さいごまで言う : 文末まではっきり言う。言いよどみをしない。
- ③みじかく言う : 一文は短く言う。だらだらつなげない。分けて言う。整理して言う。大胆に言う。

たとえば近所で・・・

日本は長いんですか。



やさしい日本語では

何年日本にいますか。

確かに、日本は長いけど？



たとえばレストランで・・・

こちらがメニューでございます。こちらは、季節限定のおすすめメニューとなっております。



メニューです。こちらは今の季節だけのメニューです。おすすめですよ。

はっきり、言いきっています。

たとえば図書館で・・・

他の人の迷惑になりますので、携帯電話を使つての通話はご遠慮ください。また、マナーモードへの切り替えをお願いいたします。



ここでは電話で話さないでください。そして、マナーモードにしてください。他の人が本を読んだり、勉強したりしています。静かにしてください。お願いします。

1文は短く分けて、整理して言っています。

令和3年度に当協会日本語講座を受講した外国人や地域日本語教室で日本語を学んだ外国人のアンケートを見ると、「日本語で今後どんなことが出来るようになりたいですか」という設問に対し、一番多かったのが「友達や知り合いと話す」、次に「近所の人と話す」「電話で話す」「病院でお医者さんと話す」が続いています。外国語は話せないと思っていたらしゃる方も、やさしい日本語でそして相手をやさしく受け止める気持ちで、近所の外国人に話しかけてみませんか。笑顔で会話が続き、多文化共生の輪が広がっていくのではないのでしょうか。

Hear! Here Voices

サシャ クリンガーさん



ドイツ、ドレスデン出身。大学で日本学を学び、卒業後、JET プログラムを通し宮崎市の国際交流員として 2009 年 8 月に来日。5 年間、宮崎市で国際交流業務に携わった後、現在はサムエルキッズスクールの園長を務める。

*JET プログラムとは、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下、外国青年を招致して地方自治体等で ALT や国際交流員として任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業のことです。

宮崎市の国際交流員として働くことになった経緯を教えてください。

私は生まれが旧東ドイツで、9 歳の時にベルリンの壁が崩壊するまで自由に外国に行くことができず、外国への漠然とした憧れがありました。ベルリンの壁崩壊後は、両親と一緒にいろいろな国に旅行をしました。そして、高校生の時にはアメリカのケンタッキー州で 1 年間留学をしました。宗教色が濃い地域で、無宗教であった私は、実は日本よりアメリカで暮らした時の方がカルチャーショックを感じました。帰国後、大学でも外国語や外国の文化を学びたいと考え、進学相談をしたところ、中国学や日本学が学べることを知りました。その頃、日本の映画も大好きだったので、日本学が学べる大学への進学を決めました。

大学入学前、日本に 1 か月旅行をしました。ヒッチハイクをして関西から九州に行き、ボランティア活動も経験し、とても楽しかったです。その後、大学生の時にも何度か日本を訪れ、JET プログラムの存在を知り、応募を決めました。ドイツ人の採用は少なかったのですが、無事、宮崎市の国際交流員として働くことになりました。

ドイツと日本は似ていると言われることがあります、実際に日本で生活していて、似ていると思うところはありますか。

まず、ドイツと日本は歴史的な国の発展や経済状況、教育の分野において似ているところが多いと思います。また、何歳まで親と暮らして、何歳で就職して結婚して、といった一般的な人生観も比較的似ているような気がします。ドイツ人は真面目で時間を守る傾向があると言われるそうですが、その部分も日本人と似ていると思います。また、平和を願う気持ちが強いところも似ていると思います。

国際交流員の任期が終了した後も、県内のイベントや当協会の国際理解講座でドイツ文化を紹介するなど、宮崎の多文化共生社会づくりに貢献されていますが、どのような思いで活動されていますか。

宮崎で生活を始めて 13 年になり、アイデンティティはドイツ人ですが宮崎にとっても親しみを感じています。一般的に知られているドイツではなく、まだ知られていないドイツの面白い部分を宮崎の方々に知ってもらい、ドイツと宮崎のつながりを深めたいと思って活動しています。宮崎には保守的な部分があると感じているので、もっとオープンになってほしいですね。

現在、宮崎市内の保育園で園長を務め、グローバル教育や食育に力を入れているようですが、教育の中で特に大切にされていることを教えてください。

小学校みたいに机に座って英語を学ぶのではなく、日常生活の中で歌、ゲームを通して楽しく英語に触れることで、小さい頃から英語や外国の文化に慣れ親しむ環境づくりをしています。3～4 歳は脳が柔軟なので、言語習得も早いです。アウトプットはまだ難しいですが、子どもたちは英語での問いかけもすぐ理解できるようになります。小さい頃から英語に触れておくと、発音もよくなり、その後の英語学習にもとても役に立つと思います。子どもたちが将来、世界の人々とスムーズにコミュニケーションが取れ、多文化を当たり前として受け取っていけるようになることを願っています。

食育の一つとして、畑を借り、さつまいもを植え、時には草むしりをしながら成長を観察し、収穫して焼き芋にして食べるという取り組みをしています。人間にとって食べ物は生きる上で一番大切なものであるということと、環境問題を考慮した地球にやさしい食べ方を知ってほしいと思っています。ドイツのスーパーには必ずオーガニックコーナーがあります。安心安全な食を届けるシステムづくりが日本でももっと広がればいいですね。

宮崎も年々、外国人住民の方々が増えています。言語や文化が異なる人々と共に住みやすい宮崎を作っていくために必要なことは何でしょうか。

宮崎で一番多いのはベトナムの方でしょうか。企業で働いている方が多いと聞きますが、日本語を学ぶ機会がきちんと確保されるといいなと思います。日本語が分かれば、地域社会に出て日本人と一緒にスポーツをしたり、イベント等に参加しやすくなり、さらには地域貢献もできるのではないのでしょうか。また、コロナの状況が落ち着いたら、交流の機会が増えてほしいです。お互いを知り、交流を深めることが一番大切だと思います。

また、受け入れ側がもう少し柔軟になることも必要だと思います。外国人だからアパートを借りることができない、子どもの学校の配布物に書いてある日本語が難しい、タトゥーが入っているから温泉に入れなくて残念だという外国人の声も聞きます。私自身、外国人の友人と一緒にいて、出身国で異なる対応をされたこともあるので、偏見のない、もっと多様性が認められる社会になってほしいです。宮崎は温暖で自然も多く物価も安いので、仕事があれば、外国人にとっても暮らしやすいところだと思います。



当協会主催の国際理解講座では、ドイツの食文化について紹介していただきました。



青年会議所主催の「みやざき International Festa」では、ドイツの歌を披露されました。

これから挑戦してみたいことはありますか。

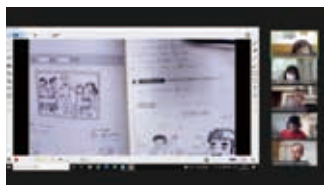
これからも、ドイツと日本、宮崎をつなげる活動を続けたいと思っています。イベントでドイツ文化を紹介したり、平和について講演したり、子どもの教育以外にも何か宮崎に貢献できればと考えています。また、コロナが落ち着いたら、宮崎の方々と一緒にドイツに行き、直接ドイツの文化に触れていただく機会も作ることができればと思っています。

宮崎県国際交流協会 ニュース

● 次の講座を開催しました。 ●

外国人住民のための日本語講座 オンライン 初級1・2・3・初中級

宮崎県内どこからでも受講可能な、オンライン日本語講座を5月から開講しました。オンラインでの学習は、分かりにくそう…やりづらそう…というイメージをお持ちの方もまだまだ多いかもしれませんが、With コロナの時代で、とても便利な学習方法であることは間違いありません。移動することなく、コロナの状況に左右されないオンライン日本語講座は、10月から初級1・2・初中級を開講予定です。



外国人住民のための日本語講座 宮崎市 初級1・2

日本語を初級のレベルから勉強したいという県内在住の外国人住民に対して日本語講座を開講しました。

様々な国から来た外国人住民の方が日本語を学ばれました。

10月からは初級1・2・3を開講予定です。



国際理解講座 中国編

中国福建省出身の張 勁恒(チョウ ケイコウ)さんが講師を務めて下さり、福建省を中心に中国の文化、政治経済、社会についてたくさんのお話を聞かせてくださいました。今までお茶の生産量が高いイメージの福建省でしたが、1度は旅行で訪れてみたいと思う魅力がたくさん存在する場所であることがよくわかりました。



国際理解講座 フィリピン編

フィリピン出身のキャサリン ボンサト氏を講師に迎え、タイトルの Philippines at a Glance のとおり、フィリピンをさっそご紹介いただきました。国旗に込められた意味、各地のお祭り、国民性など画像や動画を使って丁寧に話していただきました。参加者の皆さんは、キャサリンさんの楽しいお話にうながされて、現在のフィリピン事情や、旅行情報などいろいろ質問されていました。コロナ禍が終わったら、すぐにでも行きたいとおっしゃる方が多く、フィリピンに魅了された2時間でした。



日本語学習支援者養成講座

6月~7月にかけて、全県下の皆さまを対象としたオンラインでの日本語学習支援者養成講座・基礎編を開催いたしました。7月からは、日南市で対面での講座、スキルアップ編も開催されました。この講座は、日本語教育や多文化共生、国際交流に関心のある方だけではなく、どなたでも受講できます。今後は三股町、延岡市で対面のスキルアップ講座と、オンラインでのスキルアップ講座が開講予定です。



地域日本語教室

6月に日向市で「防災」をテーマにした日本語教室を実施しました。

日本語教室は、それぞれの地域で生活する外国人住民と地域の日本人住民との交流等を交えながら、生活知識や生活に関連した日本語を学ぶことを目的に県内4地域で実施しています。

日向市の他に日南市、三股町、新富町でも実施予定です。



上記講座の他、「日本語れんしゅう会(週3回・通年)」と「県国際交流員とのおしゃべり会(月1~4回・通年)」も開催しました。

今年度後半も様々な講座を計画しています。詳細は、協会のホームページやFacebookでご確認ください。

協会のHPはこちらから!



ちよっぴといき

「7年ぶりの国際交流」

スタッフ 吉原 賢太



日本に住んでいると、海外の文化に触れることは少なく、文化の違いに違和感を感じたり、苦労する機会は少ないのではないかと思います。私が初めて海外との文化の違いを感じたのは、学生時代に台湾へ卒業旅行に行った時です。

まず、歴史的な違いを感じたのが、龍山寺に行った時です。日本の寺院とは違った装飾の色彩で、文化の違いを肌で感じました。食生活の違いを感じたのは、セブンイレブンに行った時です。店内に入ると日本ではおでんが売られているような容器があり、台湾でもおでんが売られているのかと思っていたら、薬膳の香りがしてきました。日本のおでんと具は似ていましたが、味は異なり、その違いと味の美味しさに驚きました。飲食店では、日本語版のメニューが用意されている店も多く、その配慮に安心して飲食ができました。

次に、私が熊本大地震で避難所支援に派遣された際、言語による意思疎通の大切さを実感しました。避難所ではインスタント麺の支援があり、「1人1個まで」と張り紙がされていましたが、外国人住民の方が、1箱持ち

て行こうとしてしまい、職員に止められていました。

その方は、「個」と「箱」の違いが分かっていなかったようで、説明を受けると納得していました。こういった少しの言葉の違いで、トラブルになりかねない状況に遭遇し、改めて言語の大切さに気付かされました。

宮崎県でも外国人住民は年々増加していますが、その国籍や母国語は様々です。

現在、宮崎県国際交流協会では、外国人住民への日本語学習支援や県民と外国人住民との交流などを通じた国際交流の促進に取り組んでいます。協会で実施している外国人のための日本語講座では、日本語のレベルに応じて多くの外国人住民が日本語を学習しており、中には私よりもきれいな日本語を話される方もいます。

7年前の台湾旅行やこれまでの生活の中で海外の文化に触れ、外国人住民が日本語を学ぶだけではなく、私たち日本人も彼らの国や文化について理解し、双方が支え合っていく必要があると感じました。今後、私自身も彼らの国や文化について学んでいきたいと思っています。

INFORMATION

第17回 アートフェスティバル 作品募集

【テーマ】「外国人が見た宮崎」

【展示期間】11月15日(火)～11月27日(日)

【展示場所】宮交シティ2階 ガリバー広場

※アートフェスティバル終了後、県内数カ所にて巡回展示を開催予定

【応募資格】原則として宮崎県に住んでいる外国人、または外国にルーツのある方

【部門】写真・絵画・書道・手工芸(動画を除く)

【出品点数】各部門とも1人2点以内、

サイズ:50cm×50cm以内

※詳細についてはお問い合わせください。

【応募方法】郵送、持参、またはE-mail

【応募締切】11月5日(土)

【問合せ】(公財)宮崎県国際交流協会

第17回 世界とトモダチみやざき国際フェスタ

【日時】11月27日(日) 午後0時から午後4時30分

【場所】宮交シティ3階 紫陽花ホール

【内容】世界のブース、国際交流団体ブース、ステージパフォーマンス等

【問合せ】(公財)宮崎県国際交流協会

みやざき外国人サポートセンターからのお知らせ

みやざき外国人サポートセンターでは、県内在住の外国人のみなさんからの生活に関する相談を対面・電話・メール・オンライン(ZOOM)で受け付けています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

【問合せ】みやざき外国人サポートセンター

T E L : 0985-41-5901

F A X : 0985-41-5902

E-mail : support@mif.or.jp

U R L : https://support.mif.or.jp



Website



Facebook



Instagram

◆ 賛助会員 入会のご案内 ◆

会 費 : 個人会員 年間 1口 2,000円 団体会員 年間 1口 10,000円

特 典 : 協会発行の定期刊行物「プラザニュース(日・英・中・韓)」、「South Wind」等の提供、協会開催事業への先行案内・優先参加、協会開催講座の参加割引、協会HPから団体HPにリンク可能(希望団体のみ)



South Wind

サウスウィンド
Sep.2022 Vol.101



企画・編集 公益財団法人 宮崎県国際交流協会 第101号 2022年9月発行

〒880-0805 宮崎市橋通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階 TEL.0985-32-8457 FAX.0985-32-8512

● URL <https://www.mif.or.jp/> ● E-mail miyainfo@mif.or.jp

情報・意見などをお寄せください。

外国人との交流会など、国際交流に関する催しを計画している団体やサークルの情報をお待ちしております。
また、国際交流に関する話題や体験談、意見なども協会にお寄せください。本誌に対する要望もお待ちしております。



開館時間: 火～土 / 10:00～19:00
休館日: 日・月・祝日・12月29日～1月3日